



**第 9 回 アジアファッション連合会 日本・東京大会 REPORT**

2012 年

一般財団法人日本ファッション協会

## 第9回アジアファッション連合会 日本・東京大会 REPORT

- I. 期 間 : 2012年7月17日(火) ~ 20日(金)
- II. 場 所 : 日本・東京国際展示場 他
- III. 参加人数 : セミナー約490名、ファッションショー約250名、レセプション・パーティー約180名
- IV. 概 要 :

### 1. アジアファッション連合会(AFF)参加国

AFF Japan	一般財団法人日本ファッション協会 (JFA)
AFF China	China Fashion Association (CFA)
AFF Korea	Korea Fashion Association (KFA)
AFF Singapore	Textile Fashion Federation Singapore (TAFF)
AFF Thailand	Thai Garment Manufacturers Association (TGMA)
AFF Vietnam	Vietnam Textile & Apparel Association (VITAS)

### 2. AFFについて

ファッションを生活文化全般と広く捉え、加盟国の相互理解の下、各国の生活文化の向上を図ると共に、相互ファッションビジネスを活性化させ、アジアのファッションを世界に発信することを目的に2003年12月に日中韓の連合会として発足。その後、2007年にシンガポール、2008年にタイ、2009年にベトナムが加盟し、今年で10年目を迎える。

### 3. 大会等概要

AFF 大会は、生活文化向上の啓発、および、参加国の相互理解・交流をベースにファッションビジネスの活性化を目的とし、年に一度、加盟国持ち回りで開催している。

第9回大会は、「アジアから世界へ」をテーマに、「アジアンクリエイション」の魅力をご紹介するとともに、日本最大のファッション・トレードショーであるJFW-International Fashion Fairと連携し、グローバルビジネスの展開が期待できる環境整備にも取り組んだ。本大会では、各国の伝統や生活文化を背景に持ち、現在のスタイルへと昇華された“アジアンクリエイション”を披露するファッションショー、日本を代表するファッションエキスパートによるセミナー、情報交換や人的交流促進を図るレセプション・パーティーを実施。併せて、JFW-International Fashion FairにAFFゾーンを設け、日本が誇るテキスタイルの展示、および、AFF加盟国のメンバー企業やデザイナーによる合同出展を行った。

また、海外からの参加者には、産業視察として、株式会社サンエー・インターナショナル、文化学園国際交流センター訪問を企画実施。産学両面から日本におけるファッションの現状を視察した。

#### <今大会の後援団体・企業> (順不同)

経済産業省、中華人民共和国駐日本国大使館、駐日韓国大使館 韓国文化院  
シンガポール国際企業庁、タイ国大使館商務参事官事務所、ベトナム社会主義共和国大使館  
日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会  
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構、一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会  
織研新聞社

## 4. トップ会談

7月17日(火) 15:00~17:30 Grand Pacific Le Daiba Hotel 29F 会議室 虹

相互交流・理解の段階を経て、今後、ビジネス振興へと活動を発展させる取り組みについて昨年引き続き検討した。初段階として昨年に立ち上げた AFF オフィシャルサイトは、“ファッション産業振興”と“生活文化向上”両面の更なるコンテンツ拡充に努め、併せて SEO 対策等、サイトの PR 強化も図ることとなった。また、アパレル・ファッション分野のビジネス促進については、海外展開の環境整備を進め、その機会の拡大を目指すこととなった。ついては、これらの取り組みを着実に前進させるため、事務局レベルのワーキンググループを創設し、具体策を検討する。まずは、日本とタイが中心となり、ワーキンググループ設置に向けた詳細を協議することが決定した。

次回の大会は、シンガポールが主催国となり 2013 年 5 月中旬、シンガポールにて開催する予定。

## 5. プログラム

## (1) オープニングセレモニー

7月18日(水) 10:20~10:40 東京国際展示場 西展示場 4階 (JFW-IFF 会場内)

- |               |  |
|---------------|--|
| ➤ 主催者代表挨拶     | 日本ファッション協会 理事長 馬場 彰                      |
| ➤ 来賓挨拶        | 経済産業省 商務情報政策局 審議官 今林 顯一 氏                |
| ➤ 各国 AFF 代表挨拶 | AFF Japan 委員長 平井 克彦                      |
|               | AFF China 委員長 Mr. Dangqi Li              |
|               | AFF Korea 委員長 Mr. Dae Yun WON            |
|               | AFF Singapore 委員長 Mr. David WANG         |
|               | AFF Thailand 委員長 Mr. Sukij KONGPIYACHARN |
|               | AFF Vietnam 委員長代理 Mr. Nguyen Van TUAN    |

**主催者代表 日本ファッション協会 理事長 馬場 彰より**

- ◇ 本日は、お忙しい中、アジアファッション連合会日本大会のオープニングセレモニーにご参集いただき、誠にありがとうございます。中国、韓国、シンガポール、タイ、ベトナムの、アジアファッション連合会加盟国から、遠路はるばるおいでいただいた、多くの皆様を心からご歓迎申し上げます。さらに、この日本大会開催に向けての加盟国のご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。
- ◇ このアジアファッション連合会は、日本ファッション協会の中心事業として、2003年に発足した。当初、中国、韓国、日本の三カ国でスタートしたが、その後、シンガポール、タイ、ベトナムからのご参加をいただき、現在は 6カ国で、セミナー、人材育成のためのファッションショー、交流レセプションや、生活文化の相互理解のための視察などの活動を行ってきた。
- ◇ 今回の東京大会は、7年ぶりの日本開催となり、このように JFW-国際ファッション・フェアの会場をお借りしての開催となった。6カ国デザイナーによるファッションショー、日本のファッションビジネスについてのセミナーなど、魅力的なイベントが多数予定されているので、存分にお楽しみいただきたい。
- ◇ 最後に、このアジアファッション連合会日本大会の開催にあたり、JFW 国際ファッション・フェアを運営されるジャパンファッションウィーク推進機構ならびに織研新聞社の皆様には大変お世話になり、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。
- ◇ 今回のアジアファッション連合会日本大会が、盛況かつ有意義な催しとなるよう祈念し、開会のご挨拶とさせていただきます。

**来賓 経済産業省 商務情報政策局 審議官 今林 顯一氏より**

- ◇ アジアのファッショントレンドセッターであるここ東京で、第9回アジアファッション連合会 日本・東京大

会が開催されることを心からお喜び申し上げるとともに、馬場理事長始め、日本ファッション協会事務局の皆様のご尽力に敬意を表す。

- ◇ 今回は第 3 回目の日本での開催であり、国内外の産業界からの期待も非常に高まっていると感じる。日本のファッション産業は、“クール・ジャパン”を代表し、最重要の産業分野の一つと認識している。また、本大会のようにアジアの国々の様々なファッションを相互交流させることは、それぞれの独自性を見つけ直す機会を若いデザイナーにも提供することができ、大変意義が深いと感じている。
- ◇ 日本のファッションはアジアにおいて雑誌の売上も大きく関心も高く、ファッション・アパレルのブランド化、海外展開に対して高い期待を持っている。このため、政府としても“クール・ジャパン”戦略の下、我が国中小企業やクリエイター等のシンガポール、インド等のアジアを中心とした新興国への海外展開支援など我が国ファッション産業の国内外販路拡大のための各種施策を実施し応援しているところである。また、今年 3 月 24 日には、枝野経済産業大臣自ら“銀座ランウェイ”というイベントに参加し、銀座という街の魅力や、デニム産地とデザイナーの連携を海外に向けて PR した。このような日本の強みを内外に発信していく取組を今後も一層強化していく。
- ◇ 皆様方の成功と、ますますの御活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

### AFF 日本 平井委員長より

- ◇ 本日は、アジアファッション連合会日本大会に、内外から多くの方々のご参集をいただき、誠にありがとうございます。また、ご後援頂いた、経済産業省、在京の中華人民共和国大使館、大韓民国大使館文化院、シンガポール国際企業庁、タイ王国大使館商務参事官事務所、ベトナム社会主義共和国大使館、及び日本商工会議所、東京商工会議所、日本アパレル・ファッション産業協会、日本ファッション・ウィーク推進機構、日本テキスタイルデザイン協会、織研新聞社の皆様方に、心から厚くお礼を申し上げます。さらに、この日本大会開催に向けて全面的にご協力いただいた、加盟国事務局ならびに関係者の皆様にも、心から感謝を申し上げます。
- ◇ 我々、アジアファッション連合会は、東アジア各国の相互交流・相互理解をベースに、各国の生活文化向上とファッションビジネスの振興を図り、更にアジアのファッションを広く世界に発信していこうという想いを込めて発足し、順調に発展した。
- ◇ 年次行事の AFF 大会については、2003 年の東京での発足会以来、今回で第 9 回目を迎える。
- ◇ 各大会は、加盟国間の交流や理解を深める場として、また、次代のファッション産業を担う人材の発掘や支援を推進する場として、重要な役割を果たし、いずれも大きな成功を収めてきた。昨年、“アジアからの発信”をテーマに行われた韓国大会で、更に大きな手応えを得ることができたことは、記憶に新しい。
- ◇ 今回の日本大会では、韓国大会からの流れを受けて、引き続き「アジアから世界へ」をテーマとし、より 6 カ国のビジネス交流、そしてアジアファッションの振興、世界への発信に資する大会にしたいと考え、様々な工夫をしている。まずは、“アジアンクリエイション”の魅力を紹介する各国期待のデザイナーによるファッションショーや、ショーで披露される作品の展示ブースの設置。ついで、普段ではなかなか拝聴できない講師陣による、ファッションビジネス・セミナー。また、グローバルビジネスへの展開を期待して、この JFW インターナショナル・ファッション・フェアの会場をお借りし、アジアファッション連合会参加国からの合同展示ブースを、デザイナー・ブースの横に用意することでビジネス支援に繋げている。併せて、日本が誇るテキスタイルの数々を紹介している。各パートにご参加いただき、是非とも日本大会をご堪能いただきたい。
- ◇ 最後に、この第 9 回アジアファッション連合会日本大会をお楽しみいただくとともに、これからのアジアファッション連合会の活動に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**AFF 中国 李委員長より**

- ◇ 中国委員会名誉会長である杜鈺洲、前委員長の王慶、そして中国代表団全メンバーを代表して、東京大会の開催を心からお祝いする。
- ◇ アジアファッション連合会は創立以来、東洋の文化を進歩させ、アジアのファッション産業の力を育む活動に取り組んできた。経済のグローバル化と文化の多様性が並存する現代世界において、伝統文化を継承しつつ刷新し、現代の生活と伝統を結びつけることが我々の中心的な活動である。日本はアジアの先進国であり、東京はファッションの中心地。優れたファッションデザイナー達が象徴するように、80年代以降、日本のファッション産業は、伝統文化の継承、発展、革新を追求し、著しい成果を上げてきた。日本のファッション産業を成長させるだけでなく、欧米の影響下にあったファッション界に新しい発想をもたらした。これは、将来有望なアジアの国々が学ぶべき貴重な経験である。
- ◇ 我々が言う東洋文化の促進とは、単なる過去への回帰ではない。優れた東洋の精神や哲学、信仰、知恵を開花させることが重要。扉を閉めて壁を築き、偏狭な“ナショナリズム”を推し進めるのではなく、開かれた心であらゆる挑戦に臨み、柔軟な姿勢で革新的に考えることこそが、アジアのスタイルである。アジアの特徴を取り入れた新しいファッション文化の創造、豊かな文明、そして類の発展に貢献する。
- ◇ また、アジアファッション連合会は、全ての加盟国に情報発信の場を提供する。本日は、6カ国のデザイナーが、伝統文化をいかに理解し、解釈したのかを、創造的なデザインによって披露する。素晴らしい精神の発露が見られることだろう。アジアファッション連合会中国委員会は、優秀なデザイナーであり同委員会主席団の一員でもある張志峰氏を推薦した。今回は彼のブランド、NE・TIGERの最新コレクションが発表される。張氏は、長らく中国の伝統文化を探求し、伝統的な職人芸を守るために多くの優れた成果を上げてきた。
- ◇ 私は、今大会のために東京を訪れ、皆様にお会いできとても興奮している。26年前、客員教授として東京で働き、学んできたので、この洗練された魅力的な都市に特別な思いがある。
- ◇ 全員の協力によって、この大会は必ずや成功を収めるだろう。

**AFF 韓国 Dae Yun WON 委員長より**

- ◇ 第9回アジアファッション連合会東京大会が、今年、日本で開催されることをお祝いする。昨年の大地震にもかかわらず、このイベントを周到に準備してきた皆様の意欲に賛辞を呈す。皆様の途方もない努力により、あの悲劇をこれほど賢明に乗り越えられたことに驚かされている。
- ◇ 現在、世界的な景気後退により、だれもが直接的、あるいは間接的に厳しい時期を経験している。ご存知のとおり、ファッション業界は他の業界以上に輸出ビジネスと国内市場に敏感である。この不況が終わるまで、ただ座して待つわけにはいかない。韓国ファッション協会の委員長として、私はいつの日か“アジアの時代”が到来すると述べてきた。アジアファッション連合会の各国は、それぞれ独自の文化と産業基盤を持っている。今こそ“アジアファッション”が持つ真の力を発揮する時である。
- ◇ アジアファッション連合会の全メンバーが、アジアファッションの次のステージへ向けて交流を深め、協力し合うことを願う。共通のゴールへ踏み出そう。
- ◇ アジアファッション連合会のメンバー全員のご多幸を祈る。また、この素晴らしいイベントを開催してくださったことに改めて感謝する。

**AFF シンガポール WANG 委員長より**

- ◇ 今年の大会が東京で、日本の名誉ある JFW インターナショナル・ファッション・フェアと共催されることを光栄に、また、とても嬉しく思う。
- ◇ アジアファッション連合会加盟国の代表デザイナーたちは、今年のファッションショーで、“アジアスタイル”とは何かを披露すべく努力してきた。彼らは共に、最新の個性的なデザイン、広大で豊饒なアジ

アの文化を反映しつつ、ニューヨークやロンドン、ミラノといった都市でも通用するクリエイションを見せてくれるでしょう。

- ◇ シンガポールでは現在、ユニークな若手デザイナー育成プロジェクト“Parco next NEXT”が進められている。これは、将来性のある若いデザイナー育成のため、シンガポール政府とパルコシンガポール店を介した日本パルコが支援し、販売スペースと研修の機会を提供するプロジェクトである。
- ◇ アジアファッション連合会によって、加盟国により多くの協働の道が開かれることを願っている。
- ◇ この大会の成功を祈る。

#### AFF タイ KONGPIYACHARN 委員長より

- ◇ アジアファッション連合会タイ委員会を代表して、この素晴らしいイベントを主催された日本委員会にお礼を申し上げる。
- ◇ アジアファッション連合会は、世界経済で重要な役割を担う 6 カ国が加盟している。中国、日本、韓国は経済大国であり、シンガポール、タイ、ベトナムは ASEAN の加盟国である。総人口 6 億に達する ASEAN 経済共同体(AEC)が 2015 年に創設されると、ASEAN はよりダイナミックな存在になる。アジアファッション連合会の加盟国間で、既に自由貿易協定が結ばれていることは注目に値する。ASEAN に中国と日本、韓国を加えた ASEAN・プラス 3 により、各国間の貿易と投資がより容易になるだろう。今こそ、アジアファッション連合会加盟国の民間部門がネットワークを構築し、業務提携を強化し、自由貿易協定の利点を活用するチャンスである。加盟国 6 カ国はそれぞれ異なった可能性を秘めている。各国の違いを利用して、お互いをサポートすることが非常に重要。共通の目標、共通のゴールがあれば、全ての加盟国が成功を掴むことができるだろう。
- ◇ 世界経済を牽引するグローバルなファッション産業で、アジアは重要な役割を果たしている。
- ◇ 目的を達成するためには、国の枠組みを超えた活動を、より多く行う必要がある。2 カ国間であれ多国間であれ、確固とした協力関係を結ぶことが重要。最近、加盟国の情報と活動を紹介し、宣伝する媒体として、タイがアジアファッション連合会のウェブサイトを作成した。
- ◇ ファッション業界に関するニュース、イベントの最新情報、ファッション関連のショッピングエリア、ライフスタイル、文化体験ができる場所などの情報を掲載することで、アジアの主要な 6 カ国のファッションやライフスタイルを学び、理解することができる。加盟国間の協調と協働は、私たちの地域を大いに豊かにし、良い影響をもたらすだろう。
- ◇ アジアファッション連合会のメンバーとして、タイ委員会は“アジアンクリエイション”を世界に披露するために共に歩き続けていくことを、この場を借りて皆様に約束する。
- ◇ 最後に、この特別なイベントに参加するすべての方々のご多幸をお祈りする。

#### AFF ベトナム TUAN 委員長代理より

- ◇ この素晴らしい日に、第 9 回アジアファッション連合会大会が「アジアから世界へ」というテーマのもと、JFW インターナショナル・ファッション・フェアと共催で、日本の首都・東京で開催される。Vietnam Textile and Apparel Association (VITAS) を代表し、アジアファッション連合会のメンバーとしてこの大会に参加できたことは最高の喜びであり、光栄に思う。
- ◇ アジアファッション連合会は、加盟国間で協力しつつアジアのファッション資源を活用し、世界へ輸出する際の付加価値とすることを目的にしている。これまで、アジアファッション連合会は多くの有意義な活動を行い、メンバーに利益をもたらし、人々の注目を集めてきた。私たち VITAS は、6 番目のメンバーになれたことを誇りに思う。
- ◇ 近年、世界経済は多くの困難に直面しており、ベトナムも例外ではない。とはいえ、政府や企業、人々の努力により、ベトナムの繊維・服飾産業は、今もめざましい発展を遂げている。取引高は 2010 年には 15%、2011 年には 25% 増加し、総輸出額は 2010 年に 125 億米ドル、2011 年に 158 億米ドル

に達した。これは世界第5位で、日本はベトナムにとって重要な市場である。この成果の一部は、国内のファッション・デザイン部門によるものだが、ベトナムの繊維・服飾産業は、まだその多くを CMT(裁断、縫製、仕上げ)と OEM(相手先ブランド製品製造)に依存しており、ファッションとデザインによる利益は多くない。

- ◇ ファッションとデザインの役割は、生活のための美の創造、繊維・服飾の発展の牽引、付加価値の創出、労働者の収入の増加にある。ベトナムの繊維・服飾産業にとって重要なのは、グローバルなサプライチェーンと密接に結びつき発展することだが、規模と能力が十分ではない。産業自体の未成熟に加え、研究開発や指導者、設備の不足が制約となっている。
- ◇ アジアファッション連合会への加盟によって、パートナーから学ぶ機会をより多く得られるだろう。また、私たちは常にオープンな姿勢で相互利益のために協力し、より良い生活と美しい世界を目指していく。
- ◇ 大会の成功、皆様の健康と繁栄、成功をお祈りする。



オープニングセレモニー風景



日本ファッション協会  
理事長 馬場 彰



経済産業省 商務情報政策局  
審議官 今林 顯一 氏



AFF 日本 平井委員長



AFF 中国 李委員長



AFF 韓国 WON 委員長



AFF シンガポール WANG 委員長



AFF タイ  
KONGPIYACHARN 委員長



AFF ベトナム TUAN 委員長代理

(2) ファッションショー

7月18日(水) 10:40~11:20 東京国際展示場 西展示場 4階 (JFW-IFF 会場内)  
パレードショー

7月18日(水) 14:45~15:05 東京国際展示場 西展示場 1階・4階 (JFW-IFF 会場内)

加盟各国にて将来を嘱望されるデザイナーによるファッションショー。今回は、昨年の韓国大会の流れを引き継ぎ、「アジアから世界へ」をテーマに各国の伝統や生活文化を背景とし、現在のスタイルへと昇華させた“アジアンクリエイション”を披露。各国の選抜デザイナーは、自身のアイデンティティを尊重し、豊かで繊細な感性によって創り上げたコレクションそれぞれ 14~15 点を発表、計 90 点がランウェイを彩った。更に、より多くの人にご覧いただけるよう JFW-IFF 会場内にてパレードショーを同日に実施。総勢 24 名のモデルが、各国のコレクションを纏い大会場を優雅に練り歩く様子は、来場者の注目を集めた。

また、JFW-IFF に AFF コレクションコーナーを設け、アジアンクリエイションを支えるデザイナーとして作品を展示すると共に商談に臨んだ。

## 【参加デザイナー】

Japan 江角 泰俊

## 【プロフィール】

2010年にブランドYasutoshi Ezumiをスタート。コレクションを提供すると共に、ファッション/テキスタイルデザイナー、アートディレクターとしても活動。JFW主催の第3回 SHINMAI Creator's project に選出。2011AW より東京コレクションにて発表。

1981年広島生まれ。ロンドン、セントラルセントマーティンズ美術学校ファッション&テキスタイル科卒業。アレキサンダーマックイーン等コレクションブランドで経験を積む、2008 SS / AW アクアスキュータムにてニットウェアデザイナーを務める。



## 【ブランド/コレクションコンセプト】

理 / LOGIC

事象、現象、生活、社会、文化、環境の中にある理の中から焦点を絞り、その物、事、摂理、物理に対して考察、実験、研究をする中でデザインを行い、理由のあるデザイン、結果としての形、色、質感を導きだす。





## China

## 張 志峰

## 【プロフィール】

NE・TIGER 創設者。

中国カラートレンド協会副会長、AFF 中国委員会幹部も務める。

中国初の高級ブランド創設者として知られ、ノーブル、上品、セクシーなスタイルをクリエイションする。

## 【ブランドコンセプト】

1992 年創立の中国のラグジュアリーファッションブランド。

中国の文化と伝統を受け継ぎ、古代と現代の調和、中国と西洋の融合をデザインの柱とし、中国の高級文化の回復や高級ブランドの台頭に尽力する。

高級オートクチュールブランドは、Huafu (中国文化や歴史の本質や精神を表す言葉)。中国民族衣装も Huafu と呼ばれる。





## Korea

## DOII LEE

## 【プロフィール】

2008年にブランド Doii 設立。

2002年、ロンドン、セントラルセントマーティンズ美術学校アート&デザイン科卒業。同年、The 10 Best Graduates of Central St . Martins2002 に選ばれ、Fashion in Motion で展示・ショーを行う。卒業後、パリの Johg Galliano Studio, Kenzo Studio で働く。

更に、Defile studioにてアートディレクターAntonio Marrasと共に働く。現在は、ロンドンに拠点を置くが、ソウルコレクションにて毎回発表。



## 【ブランド/コレクションコンセプト】

2008年にブランド Doii をスタート。印象的な素材と装飾で、クラシック且つ女性らしさを表現。女性を魅了する上品で人目を引く、オリジナリティー溢れる作品は、韓国の最高級オートクチュール・スタジオにて生産。洗練さとグラマラスさを求める自立した女性のブランド。クラシック、フェミニンシェイプ、人目を引くファブリックや装飾を融合させ、輝きのあるラグジュアリーな作品をクリエイションする。美と新しさをデザインに求め、魅力的なオリジナルラインを追及する女性に届ける。





**Singapore ALFIE LEONG**

## 【プロフィール】

2010年にブランド AWOL 設立。

シンガポールデザイナーコンテスト優勝(1995年)、日本・中国でもファッションコンテストで受賞し、ラッフル・ラサール・スクール・オブ・デザイン奨学金を獲得。

## 【ブランド/コレクションコンセプト】

All Walks Of Life (あらゆる階層の人々)を意味する。オリジナリティーと洗練されたスタイルを探求し、質の良いファブリックと、技巧を凝らしたディテールを連結させたラインを創造。時代や流行にとらわれず、東洋と西洋の融合にこだわりを持ち、ライフスタイルをデザインに反映させる。

2012-13年 F/W: Opposite Lives、AWOL の 2012-13年 F/W のテーマは“Opposite Lives”。様々な役割を演じながら生きる現代の女性達。キャリアウーマンであり母親でもある多才な彼女達の中には、力強さと女性らしさが同居する。プリントシルクにゴールドのシープレザーとゴートファーを合わせたレディースウェアや、レザーのタキシードの襟をあしらったロングプリントドレスとジャケット、ベルト付きファーベスト、キルトの重ね着コートとスパンコールパンツなど、オリジナルのデザインを提案。





## Thailand TIPAAPHONG POOSANAPHONG

### 【プロフィール】

パリの the Haut Couture ateliers で経験を積み、07 年に TIPAAPHONG POOSANAPHONG をスタート。06 年 Visual Arts New York Advanced Jewelry Making 卒業。06-07 年バンコクのプレタポルテ Theater にてアシスタントデザイナー。03-04 年パリの Pierre et Gilles にてコスチュームデザイナー、兼、写真家アシスタント。2000-03 年 Emanuel Ungaro にて美的コンサルタント、モデル手配。Atelier de Haute Couture にてプレタポルテアシスタント。2000 年 Jean-Charles de Castelbajac インターン。



### 【ブランド/コレクションコンセプト】

都会に住む女性の日常を提案。芸術からインスピレーションを受け、職人技を施し豪華に仕上げるプレタポルテは、古典的なシルエットに美しく個性的なディテールを組み合わせる。今回のテーマは、**Romantic Rhythms**。タイ伝統舞踊のリズミカルで流れるような動きがモチーフ。洗練と優雅の中に官能性をストレートに表現する女性のためのデザイン。パステルカラーをメインに、肌とシースルーを際立たせ、スパンコールやビーズのきらめきも目を引く。生地はシルクオーガンザ、シフォン、コットン、ジャカード。身体のシルエットを強調しつつ、**Phuang Malai**(タイの花輪)をイメージしたレイヤーとギャザーでボリューム感を演出。職人的な手作業による品質の高さ、刺繍とクロシェ編みが特徴。





**Vietnam HUYNH HAI LONG****【プロフィール】**

University Theatre Cinema 卒業。

ファッションデザインコンテスト Collection grand prix Contest  
2009, New Color 受賞(ベトナム)

Media award・Young Talents Award 受賞(中国)

**【ブランド/コレクションコンセプト】**

友人の名前を掛け合わせたブランド名を持つ HULOS PRIVE は、女性にラグジュアリーなクリエイションを提供する。

今回のコレクションテーマは、FLY TO THE EAST.

生活の更なる発展は、西洋から多くの新しい文化を学び、交流し、受け入れるチャンスをもたらすだろう。しかし、不幸にも伝統的価値が忘れられようとしている。

今コレクションは、若い世代が伝統的価値を保ちながら、その真髄を時代や世界との調和の中に広めてもらいたい、伝統文化の美しさを呼び覚ましたい、というメッセージを表現している。





## (3) セミナー

7月18日(水) 13:45~16:45 東京国際展示場 Conference Tower 1F Reception Hall B

今回は、日本が誇る“ファッション・クリエイション”、“ファッション・ビジネス”、“テキスタイル”の3分野について、それぞれを代表するエキスパートが講演した。

また、JFW-IFF に設けた AFF ゾーンにテキスタイルコーナーを設置し、講演で紹介された日本の様々なテキスタイルを展示した。

▶ 第1部「TSUMORI CHISATO を語る」

対談：津森千里 × インタビュアー 織研新聞記者 青木 規子

内容：日本を代表するデザイナー津森千里氏を迎え、デザイナーを目指したきっかけや、もの作りの原動力、社会におけるデザイナーの役割などの話を伺いながら、ツモリワールドの魅力を紐解いた。

要約：ガーリーでセクシー、大人のためのファンタジーが溢れるハッピーなテイストを提案し続ける TSUMORI CHISATO。そのデザインのアイデアソースは、日々の生活にある。面白そうなネタは至る所に転がっていて、アンテナを張ってさえすれば、日常からコレクションを生み出すことも可能。ピンときたことを形にするのがデザイナーの仕事である。

ブランド最大の持ち味は、かわいいの分量感。女性の変身願望や少女性を巧みに汲み取り、デザインに落とし込むそのクリエイションは、幅広い年齢層からの支持を得ている。デビューから22年を経て、現在では共にショップを訪れる親子もあるほどだ。長きに渡りものづくりを続けてきた原動力は、デビュー当時から変わらず、自分のスタイルを世の中に出したいという思いに尽きる。自身のクリエイションが皆を楽ませ、幸せにすることに満足感、充実感を覚える。

自身のテイストが定まらず試行錯誤する若手デザイナーには、デッサンという作業を大切にしてほしいと思う。シャツのデザインをする場合でも、ボトムスまでを描き、全体感を把握することで自分のスタイルが確立していこう。また、素材を熟知することも重要である。グローバル展開やビジネス拡大を図るにあたり重要な点は、チームワークを重んじ、バランス感覚を養うこと。デザイナーのテイストや匂いをしっかりと商品に乗せたものづくりを続けてほしい。



➤ 第2部 「世界における日本のアパレル・ファッション産業」  
 —その市場特性とアジア共生の方向性—

講師： 廣内 武

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 理事長  
 繊維ファッション産学協議会 理事長  
 株式会社オンワードホールディングス 代表取締役会長兼社長  
 株式会社オンワード樺山 代表取締役会長



内容： 日本のアパレル・ファッション産業について、その市場特性を詳説し、更にアジア共生の方向を提示した。

要約： ファッションビジネスにとって日本市場は、消費者数やその購買力が依然として世界のトップレベルであるため重要度が高いと言えるが、品質や感性に対する要求水準が非常に高く、消費者から支持を得ることは容易ではない。その市場で勝ち続けるには、消費者のニーズを把握するだけでなく、アパレル産業を取り巻く環境の変化にも注意を払うことが必要で、現在では、服飾雑貨を広く包含し、アパレルとのトータルバランスを重視した販売展開がブランドの価値を高めるカギとなる。流通形態においては、Eビジネス、アウトレットモール、駅ビル等の台頭により構造が多様化、これまで最大規模を誇る販路であった百貨店も引き続き重要チャンネルではあるものの、新たな業態がアパレル市場の成長をけん引していくことだろう。

日本市場に参入する際は、日本の特徴的な取引形態である「買取仕入」、「委託仕入」、「消化仕入」のメリット・デメリットを把握し、個々の状況に沿った対応が要る。更に、日本人消費者は、高いファッション感度や品質への強いこだわりを持つと共に、価格の納得感を選択基準として据えているため、ファストファッションとラグジュアリーブランドを器用に着こなすという特徴もある。また、季節の移ろいに機敏に対応した商品を好む傾向があるため、きめ細かい商品企画は不可欠。

アジア全体を見渡すと、経済成長に伴ってアパレル・ファッション商品は、実用品の域を超え、感性に訴えた品々の需要が顕在化することは確実である。各国・各地域では、それぞれの歴史や伝統、文化、技術などを背景に、時代性を備えたアジアンファッションを創造し、西洋一辺倒でない新たな中心軸を形成するようになるだろう。アジアンファッションが、世界のファッション市場をより多彩で豊かなものに変えていく時代は、目前に迫っている。



➤ 第3部

テーマ：ものづくり、アジアからの発信 - Japan Textile の未来 -

講師：わたなべ ひろこ

多摩美術大学名誉教授

一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会 会長

NPO 法人国際テキスタイルネットワークジャパン 代表

日本フィンランドデザイン協会 理事

世界絞りネットワーク 幹事



内容：真のものづくりの重要性、また日本のテキスタイルが世界に発信するメッセージを紹介。

講演中に紹介した日本特有のテキスタイルの数々は、JFW インターナショナル・ファッション・フェアと連動し、AFF ブース内にテキスタイルコーナーを設け展示。講演との相乗効果を図った。

要約：21世紀は、アジアの時代と言われているが、それを私たちは本当に自覚しているのだろうか。私たちは、アジア自身を問い直すと共に、それぞれの歴史や伝統文化、生活の在りようなどを振り返り、アジアの自立を再考する時期を迎えている。

ものづくりにおいては、それぞれの国や地域固有の文化や風土により培った感性や技術を大切にしたクリエイションでアジア独自のブランドを発信すると共に、新しい時代に対応する知恵と力を持たなければならない。

中でも繊維分野は、伝統的なものから最新テクノロジーを駆使したもの、生活の末端にあるものから宇宙開発を担うものまで、多種多様に存在し、更なる可能性も帯びている。テキスタイルについても夢が広がっており、デザイナーやメーカーは、自身の取り組みが、繊維産業を支える重要な基盤であるとの誇りを持ち頑張っている。

真のものづくりの使命を忘れず、人間らしい生活を営むための志を失わず、「アジアから世界へ」の新たな発信を皆さんと一緒に進めていきたい。





セミナー全体風景

## (4) レセプションディナー

7月18日(水) 18:00~20:00 東京国際展示場 Conference Tower 1F Reception Hall A

AFF日本委員会三宅副委員長の挨拶後、来賓のベトナム大使館商務参事官グエン氏、AFF正副委員長、主催者代表による鏡割りにて開会、意見・情報交換等を通して参加者間の交流が活発に行われた。

今回は、“歓迎セレモニー”として多摩美術大学和太鼓研究会鍮水太鼓による和太鼓演奏、日本フラワーデザイナー協会講師小松弘典氏によるフラワーアレンジメント・デモンストレーションを実施。躍動感溢れる和太鼓の演奏は、レセプションを盛り上げ、フラワーアレンジメント・デモンストレーションでは、和をモチーフにした作品が人々を魅了した。更に、完成したアレンジメントフラワーをAFF発足に中心メンバーとして携わり、これまで会の発展に貢献してこられたAFF中国の杜名誉委員長に贈呈。その後、杜名誉会長から祝辞を賜り、10年に渡るAFFの歴史を振り返った。

最後に次回のAFF大会開催国としてホスト役を務めることとなったAFFシンガポールDavid WANG委員長が閉会挨拶を行い、大会初日が幕を閉じた。



乾杯の発声 AFF日本 三宅副委員長



多摩美術大学和太鼓研究会鑓水太鼓による和太鼓演奏



日本フラワーデザイナー協会 講師 小松弘典氏による  
フラワーアレンジメント・デモンストレーション



AFF 中国 杜名誉委員長



AFF シンガポール  
David WANG 委員長

## (5) 企業訪問

7月19日(木) 9:30~11:30 株式会社サンエー・インターナショナル

株式会社サンエー・インターナショナル本社を訪問し、同社が手掛けるブランドのご紹介、ブランドポートフォリオ戦略の公開および解説を頂くとともに、諸外国企業が日本市場に進出する際の留意点にも言及していただいた。ビジネス戦略の詳細を明らかにしたその内容は、参加したAFF海外メンバーに驚きと興奮をもたらした。その後、本社内の各セクションを訪れ、現場の様子を拝見した。

## (6) 学校訪問

7月19日(木) 14:00~15:30 学校法人文化学園 文化学園

文化学園国際交流センターを訪問し、ファッションリソースセンター、および、服飾博物館を内覧した。参加者からは、校内に充実した環境を整え、次代のデザイナーやファッション産業を背負う人々を多数輩出する文化学園の方針や取り組みに関心の声が寄せられた。

## 《ファッションリソースセンター概要》

同センターは、学園の生徒に限らず、日本のファッション教育・産業界にも情報公開、交流を促し、世界のファッション情報センターとして機能することを目指す。

## ➤ 保有施設

## 『テキスタイル資料室』

常時、約8,000点の布地を保有。

ベーシックからトレンドまで多岐に渡り展示され、実際に触れて素材を確認することが出来る。

## 『映像資料室』

ファッション主要都市で開催されるコレクションの映像や画像を保有。

画像については、1946年まで遡ることが可能。

## 『コスチューム資料室』

同校生徒、著名デザイナーの作品や企業製品、各コンクール受賞作品など計約50,000点を収蔵。時代を捉える創作ヒントとして活用されている。

## (7) JFW-International Fashion Fair 出展

7月18日(水)~7月20日(金) 東京国際展示場 西ホール4階

各国で開催する催事を活用し、ビジネス交流の拡大を進めるというAFFの方針に基づき、AFFとしてJFW-International Fashion Fairに出展。AFFゾーンを構え、AFFメンバーコーナー、AFFコレクションコーナー、テキスタイルコーナーを設置した。

## ➤ AFFゾーン

## 『AFFメンバーコーナー』

AFF加盟国のメンバー企業による、ビジネスマッチングのための合同出展ブース。

今回は、以下の韓国企業6社が参加し商談に臨んだ。

<社名>	<ブランド名>	<分類>	<URL>
WHITE	campari orange	Ladies	<a href="http://www.campari.co.kr">http://www.campari.co.kr</a>
Dongju	Mode avecmoi	Ladies	<a href="http://www.dongjumode.net">http://www.dongjumode.net</a>
Liang	Liang S. J	Ladies	<a href="http://liangsj.kr/main.asp">http://liangsj.kr/main.asp</a>
STARSHOES	dusty mauve	Shoes	<a href="http://www.dustymauve.com">http://www.dustymauve.com</a>
uniSchola	uniSchola	Ladies	<a href="http://www.stylero.co.kr">http://www.stylero.co.kr</a>
Hyerim	dU'gonG	Ladies	<a href="http://www.dugong.kr">http://www.dugong.kr</a>

## 『AFF コレクションコーナー』

AFF ファッションショーに参加した各国デザイナーの展示商談ブース。

各国の伝統や生活文化を背景とし、現在のスタイルへと昇華させた“アジアンクリエイション”の数々を並べ、AFF が提案するアジアンファッションの素晴らしさを広くアピールすると共に、各デザイナーには、日本市場進出の足掛かりとなる場を提供した。

## 『テキスタイルコーナー』 Japan Textile の未来 – Japan Textile Creation –

AFF セミナー第3部「ものづくり、アジアからの発信 – Japan Textile の未来–」で紹介されたテキスタイルの数々を一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会の協力を得て収集し、それぞれの特長や生産者などの解説と共に展示した。日本の繊維産地で培われ卓越した技術と、世界に誇る美意識から生まれる独特の造形力によって生み出された様々なテキスタイルを多くの方にご覧いただき、その素晴らしさを国内外にアピールした。

尚、今回展示したテキスタイルは、日本テキスタイルデザイン協会が付与する「J 布」(※1)に認定されている。

※1 「J布」とは、日本文化に裏打ちされた「技術」と「感性」に優れたファブリックスの開発を促進し、暮らしの中でその良さを認知していくことを目的に、単なる偏狭な日本ブームや一過性のファッションではなく、テキスタイルをとおして連綿と次世代へ受け継がれる日本の文化を具現化する製品。

## ＜協力企業・団体＞ 順不同

株式会社 安部吉	有限会社 志摩織物工場
羽生田織物 株式会社	齋栄織物 株式会社
株式会社 黒沢レース	株式会社 ミタショー
新啓織物	小島染織工業 株式会社
株式会社 山崎ビロード	有限会社 絞染色 久野染工場
伊豆蔵明彦自然染織研究所	<b>STUDIO SALT SHRINKAGE</b>
杉村繊維工業 株式会社	妙中パイル織物 株式会社
株式会社 中矢パイル	遠孫織布 株式会社
有限会社 小倉クリエイション	株式会社 ダイドーインターナショナル
有限会社 ルピナスデザイン研究所	帝人ファイバー 株式会社
東レ 株式会社	
公益社団法人 京都染織文化協会 「プロジェクト ZERO」	
峯田織物 有限会社	ウラセ 株式会社
株式会社 おおまえ	有限会社 染コモリ
株式会社 サワダ	株式会社 菌部染工
大野繊維 株式会社	



AFF メンバーコーナー



AFF コレクションコーナー



テキスタイルコーナー

V. 大会情報掲載紙

2012.06.05 織研新聞

2012.06.10 東商新聞

インフォメーション

アジアファッション連合会が「東京大会」開催

日本・中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナムの各国で組織するアジアファッション連合会は「東京大会」を7月18日から20日に東京ビッグサイトで開催する。アジアから世界へ発信をテーマに、各国デザイナーが自国の伝統や生活文化を、現代のファッションに表した作品で披露するファッションショーや、日本の代表的ファッションエキスポート（津森千里氏、廣内武氏、わたなべひさこ氏）によるセミナー、及び交流会を開く。詳細は日本ファッション協会ホームページから。  
http://www.japanfashion.or.jp

ビジネス支援を具体化

7月に第9回AFF東京大会

JFWIFFと連携 マッチングコーナー設置

日中韓とタイ、ベトナム、シンガポールの6カ国のファッション関連団体で作るアジアファッション連合会(AFF)は7月17、19日、東京で第9回大会を開く。今回はJFWIFF、タイ・ナショナル・ファッション・フェア(JFWIFF)、東京ビッグサイトと連携した取り組みとなる。平井克彦AFF日本



平井AFF委員長  
日本

委員長に大会の特徴を聞いた。AFFの経過は。アジアから世界へ発信する連

合会を作ろうという呼びかけで、03年に日中韓の3カ国で発足。その後、現在の6カ国となり、トップ会議、シンポジウム、人材育成のファッションショー、レセプション、生活文化視察に取り組みできました。生活文化に根差して。今回の特徴は。

まず、第1にファッションショーに関して、日本の提案で、各国の選出デザイナーをその国の生活文化を理解して、これを基盤にしたファッションを提案できるデザイナーとしたことです。欧米のファッションのフォロワーだけではアジアからの発信はできません。第2はシンポジウム。デザイナーの津森千里さんと日本パレル・ファッション産業協会の廣内武理事長、日本テキスタイルデザイナー協会のわたなべひさこ会長という日本のファッションビジネス(FB)を代表する3人に話していただきます。日本のFBの流れが理解できる、相当レベルの高いシンポジウムになりますよ。

第3はビジネス支援をより具体化できること。今回はJFWIFFと連携し、デザイナーがビジネスマッチングできるコーナーを作ります。第4は、日本のテキスタイルの展示も行うことです。これまでも各国のファッションフェアと同時開催することはありましたが、今回のように密接に連携を取り、ビジネスマッチングまで行うのは初めて。AFFの流れを作れたらいいなと思っています。

ダイナミックに。今後のAFFについて。課題だらけです。共通認識の生活文化に立脚したアジアファッションの打ち出しをどうしていくのか。デザイナー選出だけでなく、もっとダイナミックに進める手立てが必要です。そしてビジネス支援の強化策やウェブサイトの拡充、若手デザイナー支援なども重要な問題です。中国が自国に招いて新しいブランド育成をやるようになっていますが、これはいいことだと思いません。ウェブサイトにアジアで仕事をしたいデザイナーを登録することなども進めたい。それから原点に立ち返って、狭義のファッション以外の生活文化で何か提案できないかということですね。「クールジャパン」みたいなAFFとして取り組めるものを考えたいですね。

2012.06.11 会議所ニュース



昨年度のファッションショーの様子(韓国・テグ)

# アジアファッションを世界へ発信

アジアファッション  
連合会

## 7月に東京大会開催

日本・中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナムの6カ国で組織するアジアファッション連合会が、7月18日、東京国際展示場で「東京大会」を開催する。同連合会は、アジアファッション

の世界発信を目指し、年に一度、加盟国持ち回りで国際大会を開催している。今年で9回目となる同大会は、「アジアから世界へ」をテーマに「アジアンクリエイション」の魅力を紹介し、JFW

インターナショナル・ファッション・フェア(IFF)と連携して開く。18日には、加盟国6人のデザイナーが、自国の伝統や生活文化を現代のファッションに表した作品を披露する。ファッションショーに勤めている人は、セや、日本の代表的ファッションエキスパートである津森千里デザイナーらによるセミナーのほか、参加者交流パーティーを実施する。参加費は1万円。申し込みは、同連合会事務局(03・3295・1311)まで。

2012.06.26 都政新報

◆第9回アジアファッション連合会 日本・東京大会 ▽日時 7月18日(木)午前10時20分～午後6時30分▽会場 東京ビッグサイト▽アジアで活躍中のデザイナーによるファッションショーやブース展示、セミナー、プレゼンテーション▽参加費 パーティーは1万円。それ以外は無料▽問い合わせ先 日本ファッション協会アジアファッション連合会日本委員会 ☎3295・1311

2012.06.29 織研新聞

2012.07.11 日刊工業新聞

「アジアファッション連合会 (AFF) はアジアから世界へ発信する連合会を作ろう」という呼びかけで、03年に日中韓の3カ国で発足、密接に交流を深め、生活文化の向上を目指してきた。その後、タイ、ベトナム、シンガポールが加わり、トップ会議、シンポジウム、人材育成のファッションショー、レセプション、生活文化視察に取り組んでいる。東京で開く第9回大会は、その国の生活文化を理

その国の生活文化を基盤にファッション提案

今月のトピックス

解し、これを基盤にしたファッションショーや、デザイナーの津森千里さんと日本アパレル産業協会の廣内武理事長、日本テキスタイルデザイナー協会のわたなべひろこ会長という日本のファッションビジネスを代表する3人によるシンポジウム、JFWイン

ターナショナル・ファッション・フェアと運動し、デザイナーがビジネスマッチングできるコーナーの設置、日本のテキスタイルの展示を行う。これまでも各国のファッションフェアと同時開催することはあったが、今回のように密接に連携を取り、ビジネスマッチングまで行うのは初めてだ。(7月17、19日、東京で第9回大会を開く平井克彦AFF日本委員長)

東京で年次大会  
シヨも開催  
アジアファッション連合会  
日中韓とシンガポール、タイ、ベトナムの6カ国のファッション組織で構成するアジアファッション連合会は18日、東京都江東区の東京ビッグサイトで年次大会「日本・東京大会」を開く。  
同大会は6カ国の持ち回り開催で、日本は2度目。

今回は「アジアから世界へ」をテーマに、現代クリエイションを表現する6人のデザイナーのファッションショーや、各分野のエキスパートによるセミナーがある。  
JFW国際ファッションフェア(20日まで開催)と運動し実施するもので、ファッションフェア入場のビジネスマンのファッションショー入場は無料。

2012.07.12 東京新聞

7月18日(水)、東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて「第9回アジアファッション連合会 日本・東京大会」開催!!

中国、韓国、シンガポール、タイ、ベトナム、日本の6カ国で組織する「アジアファッション連合会」では年に一度、加盟国持ち回りで国際大会を開催している。9回目となる今年には日本事務局(一般財団法人日本ファッション協会)が担当し、7月18日(水)に東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて開催される。

今大会では「アジアから世界へ」をテーマに、「アジアクリエイション」の魅力を紹介するとともに、JFW-International Fashion Fair(7月18~20日)と連携しながらグローバルビジネスの展開も推進していく。

具体的には、加盟各国にて活躍するデザイナー6名が、自国の伝統や生活文化を背景として、現代のスタイルにクリエイションした作品を披露する「ファッションショー」と「ブース展示」、日本を代表するファッションエキスパートによる「セミナー」、情報交換や人的交流を図る「レセプションパーティ」(参加費10,000円)などが予定されている。

問い合わせは、一般財団法人日本ファッション協会 アジアファッション連合会日本委員会事務局(電話03-3295-1311)まで。詳細はホームページ(<http://www.japanfashion.or.jp/>)で案内している。

2012.07.13 織研新聞

アFW-ITF ナビゲート 4

トレンド情報から業界外の注目企業までビジネスのヒントを与えてくれる多彩なセミナーが目白押しだ。

初日はABCクッキングスタジオのエリア統括責任者の小川雅代さんが「店舗こそ最大の広告塔、魅せる料理教室」、WG SNインサイト・プレゼンター

開幕まで5日

浅沼小優さんが「ライフスタイル・ブランド時代と13〜14年秋冬トレンドを読む」をテーマに講演する。

2日目の講演は、レシ日本やレストラン経営で注目を集めるタニタの広報室室長猪野正浩さんによる「タニタの社員食堂に学ぶブランディング効果」。

セミナー充実、ビジネスのヒントに



人気セミナーでは立ち見も出るほど（今年1月展）

最終日は元イッセイミヤケ・ヨーロッパ社長の齋藤統さんに「パリで成功することの意味、そしてパリで成功するために」

レモニー&ファッションシヨール（初日）、ニッポン・モノ・イチ・マッチングイベント（2日目）も行われる。 〓おわり

を語ってもらう。コンサルティング業務を行うプレールの栗山志明代表は「40代以上のマーケット考察」をテーマに、団塊ジュニアが40代になり市場はどのように変化するのか、見逃せない50代の可処分所得、65〜74歳が作る新たなシニア市場について講演する。会場は4階プラザゾーンでは、第9回アジアファッション連合会の日本・東京大会オープニングセミナー

〈トリビア〉

100

セミナー会場の椅子の数。人気のセミナーはすぐに席が埋まってしまうので、早めに行くことがお勧めです。

2012.07.21 寝装リビングタイムズ

アジアファッション連  
合会「第9回日本・東京大会」  
を開催した。『アジアから  
世界へ』をテーマにして開  
かれ、会場では、ファッシ  
ョンショーやセミナーな  
どが行なわれた。

このセミナーには、(一  
社)日本テキスタイルデザ  
イン協会のわたなべひろ

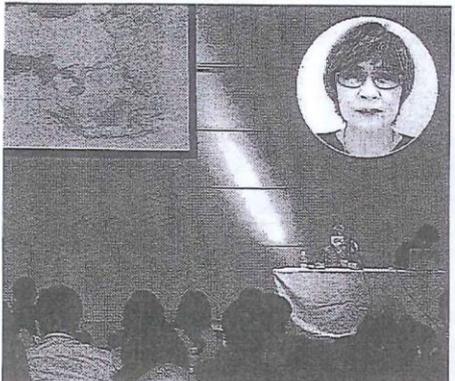
## アジアファッション連 合会 わたなべひろこ氏が講演 真のもののづくりの使命

「アジアファッション連  
合会」は、7月18日、東京・  
有明の東京ビッグサイト  
(会議棟)で、同連合会が  
開催する国際大会として  
「第9回日本・東京大会」  
を開催した。『アジアから  
世界へ』をテーマにして開  
かれ、会場では、ファッシ  
ョンショーやセミナーな  
どが行なわれた。

このセミナーには、(一  
社)日本テキスタイルデザ  
イン協会のわたなべひろ



こ会長が「ものづくりの、ア  
ジアからの発信」Japan  
Textileの未来  
」をテーマに講演した。  
わたなべ会長は、セミナー  
の中で、「私達は自分達が  
育ってきたアジア固有の地  
域の伝統文化や生活の特質  
の中にある感性や技術を大  
切に、ものづくりの誇りを



もって、進めていきたいと  
思う。欧米・インドの下請  
け生産地としてただでな  
く、アジア独自のブランド  
を発信し、新しい時代に対  
応する知恵と力を持たなけ  
ればならないと痛感してい  
る。確かに経済の発展の無  
いところに文化は育たな  
い。しかし、目先の数値を

アジアファッション連合会「日本・世界  
大会」でわたなべひろこ会長が講演した

がすこ6た番事年・1.培一は 6が国を日組組

追いかけるのみでは破たん  
を招くだけ。私達は真の  
ものづくりの使命を忘れず、  
人間のいい(ヒューマン)な  
生活を営むための志を失わ  
ず仕事を続けていきたい。こ  
れを機に「アジアから世界  
へ」の新たな発信を皆さん  
と一緒に進めていきたいと  
思うこと、聴講者らに強く  
アピールした。

2012.07.26 織研新聞

**め・て・み**

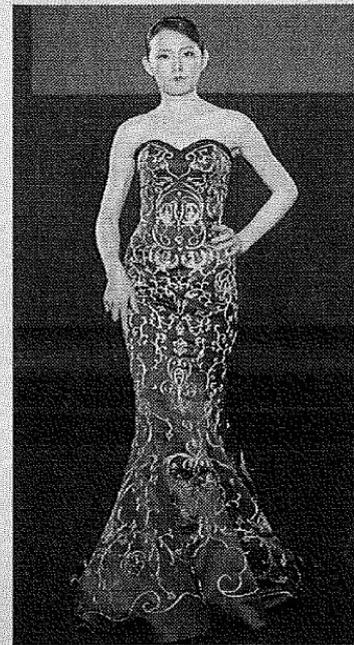
先週アジアファッ  
ション連合会の東京  
大会が開かれた。9  
回目となる今回のテ  
ーマは、「アジアか  
ら世界へ」。中国フ  
ァッションデザイナー協会主席  
で中国代表の李当岐氏は「アジ  
アには素晴らしい生活文化があ  
る。それに自信を持って欲し  
い」との考えを強調した▼東京  
大会で行われた参加6カ国の若  
手デザイナーによる「アジアシ  
ョー」で、中国は伝統的なキ  
チーフをヒントにしたドレスを  
数多く提案した。他の国の作品  
も伝統的な舞踊を意識したり、  
生活文化に根差した工夫を凝ら  
していたのが印象的だった▼五  
泉ニット組合青年部が東京で初  
めての展示会を開いている。展  
示会はニッターに加え染色整  
理、刺繍、プレスの日社が参加  
し、産地の総合力をアピールす  
る。他の産地同様に出荷額が縮  
小してきたが、昨年は増加に転  
じた。新しい仕掛けが実を結び  
つつあるためだ▼青年部は数年  
前から言われ始めた国産回帰の  
流れを着実につかむため議論を  
重ねてきた。「アパレルメーカ  
ーや小売りのバイヤーに産地を  
理解してもらい、産地の活性化  
につなげたい」と日本のものづ  
くりをアピールするのが狙いだ  
▼今週末からロンドンオリンピ  
ックが始まる。民族の祭典とも  
言われるオリンピック。開会式  
では、各国の生活文化やものづ  
くりの伝統を感じさせるような  
衣装を楽しみたい。

2012.07.24 織研新聞

# アジアファッションの未来

AFF東京大会から

▶1



「古代の杯の美」をテーマにしたデザイナー張志峰の作品

## 幅広い分野での交流が大切

企業は、いち早く問題点を見つけて対応してきました。自社ブランドを持たない生産企業は苦戦が続いています。ネットの発達により、若い人を中心に購買方式が変わりつつあります。ファッションビジネスにとって今年には挑戦の年ではないでしょうか。

アジアファッション連合会(AFF)は17、19日、東京ビッグサイトで東京大会を開いた。9回目の今回は「アジアから世界へ」をテーマに、加盟6カ国の若手デザイナーのファッションショー、セミナーなどを行った。各国代表にアジアファッションの未来を聞いた。

今回の大会でファッション文化の開拓を提案しました。テキスタイル、ゲームといった従来の枠に捉われず、幅広い分野で交流を深めることが大切です。

### 李当岐中国委員会委員長



現在、各国がファッションウィークを実施しており、中国でも3月と10月にあります。ファッションウィークで若いデザイナーが相互交流するのにも良いでしょう。

合をどのように進めるのか、若手デザイナーは重要な役割を担っています。ファッションショーで、若いデザイナーが自国の生活文化を取り込んだ作品を紹介できたことは、大変に素晴らしいと思います。

中国のファッションビジネスは岐路に立っています。今後成長を維持するには何をすべきかが問われています。これは中国の全ての企業が直面している問題です。ブランドを重視す

中国のブランド市場については楽観視しています。中国は人口13億人の巨大な市場です。中間層が増えていきますし、地域的には中西部が、将来性のある市場と見えています。昨年から今年にかけてラグジュアリーブランドが相次いでファッションショーを行い、中国市場への浸透に力を入れています。日本のブランドにも良いチャンスです。

2012.07.25 織研新聞



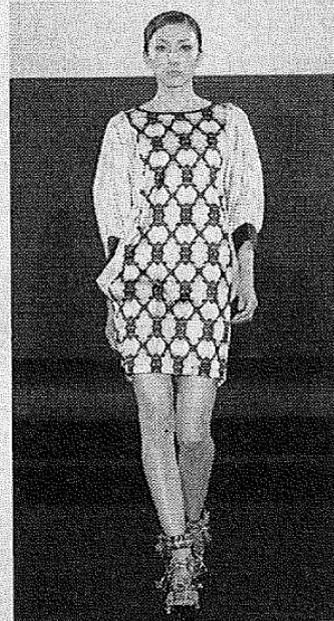
アジアファッション連合会（AFF）の大会はハノイ、杭州、大邱、東京と4回目の参加です。各国からの提案に対し真剣に議論する時間が持てました。大会は回を重ねるごとに充実し

# アジアファッションの未来

AFF東京大会から

▶2

## ダエ・ユン・ウォン 韓国委員会委員長



ミレイブデザイナーのクラシックでフェミニンなデザインを提案したドイ・リー作品

### 韓・日・中が中心となる時代へ

た内容になっています。アジアの中でも今後、韓国、日本、中国が世界のファッションの中心となる時代が来るでしょう。その時代に向けて3カ国で準備をしなければなりません。

韓国ファッション市場は、好調が続いていた昨年前半までとは一転、急速に悪化しています。主な要因は天候不順と、欧州債務危機や中国の成長率の鈍化など、世界の経済環境の悪化です。輸出産業が大きく影響を受け、結果として内需も鈍化しています。

韓国ファッションが成長するにはグローバル化を進めることが重要です。世界で活躍できる競争力のあるブランドやデザイナーの育成、中小企業の海外進出には、韓国ファッション協会を通じて政府にも働きかけていきます。大企業の中には既に海外戦略に着手し、成功を収めているところも出ています。近年増えている韓国企業による欧米ブランドのM&A（企業の合併・買収）も、韓国企業のグ

ローバル化を加速する要因となるでしょう。今年8月に上海で開くKPOPと韓国ファッションのイベント「スーパークーレクション」にも協力は協力しています。10月にはニューヨークでも開催予定です。KPOPの勢いのように世界へ躍進することが韓国ファッションの成長に欠かせません。

2012.07.26 織研新聞



今回、JFWインターナショナル・ファッション・フェアの中で、AFF（アジアファッション連合会）ファッションショーを行えたことは、一つの成功

# アジアファッションの未来

AFF東京大会から

▶ 3

## スキ・コンピアチャルン AFFタイ委員長

事例となるでしょう。アジア発のファッションを欧米に受け入れてもらうためには、まずアジアの中で認知される必要があります。アジア各国のファッションの力は、個々に見るとまだ小さいですが、こういった機会を生かし、続けていくことで大きな力になるでしょう。そしてAFFとして

も、アジアのファッションの底上げを図りたいと思っています。AFFの活動というのは、何か新しいことをやるというのではなく、もともとあるイベントなどを活用して、そこから何か新しいものを生み出し、これをアジアに広げていくことだと思っています。このことがアジ

になるでしょう。AFFメンバー国は相互に販売者であり、また購買者である関係となることに意味があります。タイが中心となって作成したAFFウェブサイトに、ぜひ消費者の流行を採り入れたい。そのためにも日本のAFF委員会の協力を得たいと思っています。



流れをモチ  
踊るような動きを  
伝統舞踊の流  
タイの踊り手  
デザインした  
ピヤポン・プ  
サンポンの作  
品

ア全体のファッション産業の活性化につながります。今、日本はアジア各国からアパレル製品を買うことが多いでしょうが、将来は日本からの販売も広がり、アパレル企業の多くは海外での販売で利益を得ること

## アジアでの認知を広げ世界へ

2012.07.27 織研新聞

# アジアファッションの 未来

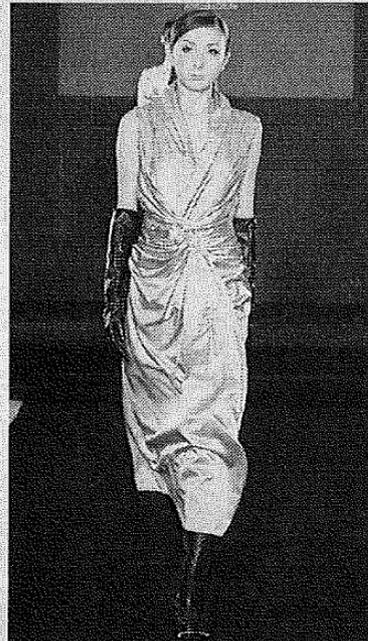
AFF東京大会から

▶4



デービット・ワン=シン  
ガポール委員会委員長

日本でのアジアファッション連合会(AFF)大会に参加して、各行事が組織的でスムーズに運営されていることに感動しました。9回目を迎え、アジアンス



様々な役割を演じる現代女性をプリントやレザーを使って表現したアルフィー・レオンの作品

## 来年は「ビジネス直結」打ち出す

タイトルをクリエイトすると、当初の目的はある程度達成できたと思います。今後はビジネスに直結する内容をとり入れていくことが大切でしょう。来年はシンガポールがホストで、アジアファッションエキスポ(ASEX)と同時開催となります。10回目にふさわしく、「ビジネス直結」という新しい側面を打ち出したい。日本とシンガポールの若手デザイナーの交流やコラボレーションの場にした

わしく「ビジネス直結」という新しい側面を打ち出したい。日本とシンガポールの若手デザイナーの交流やコラボレーションの場にした

シンの状況は厳しい。若手にとってはテキスタイル産業などバックグラウンドが弱いこと、工場手配が難しいことなどが、さらに厳しくさせています。繊維団体や政府は、若手のインキュベーションのため海外展示会への出展支援などを強めて

います。日本市場は素材感や求められる完成度の高さなど難しいマーケットですが、ぜひチャレンジしたい。JFWインターナショナル・ファッション・フェアは規模が大きく魅力があります。エッセント紹介などがあれば前向きに検討したいと考えています。

2012.07.31 織研新聞



今回のAFF（アジアファッション連合会）の会議では、アジアのファッションを世界に発信するため、各国が一緒に頑張っていくことが確認されました。特

# アジアファッションの未来

AFF東京大会から

▶5

## グエン・バン・トン＝ベトナム 繊維協会事務局長代理

に日本はテキスタイル、製品とも最も進んでおり、ファッションは世界的にレベルが高い。ベトナムも含めて東南アジアのファッションは欧州の影響が強い。こうしたデメリットを解消するためには、ファッションの背景にある生活様式や文化を一体となって発展させる必要があるでしょう。今

後は、展示会やデザイナーの交流などを進め、アジアだけでなく欧州とも交流、競争したいですね。ベトナムはまだファッションが弱く、発展にはデザイナーなどの人材育成が必要ですが、スポンサーもありません。教育のための奨学金などベトナム以外の国

考えています。日本は大きな市場ですが、競争は厳しい。日本の文化や市場性の研究を行うとともに、ベトナムの工場も日本的な管理や教育などが必要になります。このためにも、AFFを含めた日本とベトナムとの関係強化を進め、対日輸出を増やしていきます。

## ベトナム人による「デザイン」へ



3Dの刺繍とデジタルプリントの組み合わせで伝統文化の美しさを強調したフィン・ハイロンの作品

からも協力が欲しい。また、製品の発展も重要で、これをAFFと一緒に進めます。自国で開く展示会は海外からのデザインの影響だけではなく、ベトナム人のためのベトナム人によるデザインにしていきたいと

2012.08.01 織研新聞

# 年々前進できる工程表作る

平井克彦日本委員長



アジアファッションの  
未来  
AFF東京大会から

▶6

## 生活文化に関わるテーマ掲げ

「アジアから世界へ」をテーマに開いたAFF（アジアファッション）連合会 東京大会について、平井克彦日本委員長は「日本らしくうまくマネジメントできた」と評価し、今後は「狭義のファッションにとどまらず、生活文化に関わるテーマも掲げたい」と強調した。

東京大会を主催者として自己評価すれば、日本らしくうまくマネジメントできたと思っております。オープニングセレモニー、ファッションショー、セミナーはいずれも盛況で、サンエー・インターナショナルの訪問にも30人以上が参加しました。JFW・インターナショナル・ファッション・フェア（JFW・IIF）と連携して開催したことに大きな意味があったと思えます。

各国の生活文化や伝統を下地に現代的なファッションを表現することを標榜しましたが、結果的には民族衣装的な側面が強いものもありました。もう一歩前進し、現代的なファッションに昇華できるようにすれば、世界に発信していけるでしょう。セミナーは津森千里さん、廣内武さん、わたなべひろこさんの3氏とも非常にユニークなお話で、各国からの評価も高いものがありました。IIF内のAFFブースの設置、ショー作品

やテキスタイルの展示はビジネスマッチングへ向けた新しい取り組みとして意味あるものでした。少し残念だったのは各国委員長会談。私自身は、原点到立ち返りのAFFの目的をもう一度再認識し、これを前提に次のAFF

Fをどうしていくかを議論したかったのですが、各国から様々な意見が出て、やや中途半端なままで終わってしまいました。ただ、狭義のアパレルファッションのみならず、生活文化の交流と相互理解を深め、世界へと発信するというAFFの目的自身は各人が認識していると思っております。今のこの形を続ける以上は現規約を改定する必要も

江角泰俊は長方形のきものパターンを使ったカーディガン、折り紙のような切り替えを使ったシャツを提案



なく、その上で議論を進めていけばいいでしょう。日本とタイが提案したワーキンググループの設置に関しては、両国が打ち合わせを行い、案を作り、他の4カ国に送り、来年のシンガポール大会の準備として行われる事務局長会議で検討することになりました。参加国の相互理解はできていると思っております。今後のポインントはタイや韓国も提案している大会ごとにテーマを決め、年々積み上げていくような工程表を作り上げていくことでしょうか。その前提にはビジネスチャンスを作り上げていくことです。同時に狭義のファッションにとどまらず、生活文化に関わる広めのテーマも掲げていきたいと考えています。 〓おわり

2012.07.30 織研新聞

## 一步踏み出したAFFに期待

### 提言

アジアファッション連合会(AFF)の第9回東京大会が17、19日に開かれた。今回はJFWインターナショナルファッションフェア(JFW-IFE)と連携し、毎回取り組むファッションショーやセミナー以外に、IFF会場内でのAFFゾーンの設置、ショー

作品やテキスタイルの展示なども行った。課題となっていたビジネスに結びつく活動に一步踏み出した。AFFは、「各国の生活文化(ファッション)の向上、ファッションビジネスの振興、更には欧米への発信」を目的に03年、日中韓の3カ国

# アジアファッション発信へ

相互理解、相互交流に関しては、9年間の活動を通じて大きく前進してきた。半面いくつかの課題も指摘されている。東南アジアの参加国からは、ビジネスにつながる取り組みを期待する声が強まっている。一方、設立時の目的に記された生活文化の向上が狭義のアパレルを中心としたファッションが主になり、かつて議論された生活文化都市構想やアジアンカラーの研究、提案などが後

景に押しやられているとの危惧を抱く声もある。さらに、アジアファッションの欧米への発信という面ではまだまだ力不足の感は否めない。とはいえ、各国委員会の努力もあり、徐々に前進している。今回の東京大会のAFFゾーンのデザイン、テキスタイルブースの設置はその一つだ。JFW-IFEの会期中

の3日間で、AFFコーナーには1200人が来場し、デザインブースは約80人、テキスタイルブースは約200人の来場者が出展側と接点を持った。ショーの250人、セミナーの490人の参加者も含め、日本国内でのAFFの知名度向上とビジネスにつながるプラットフォームには貢献したといえよう。

第10回となる次回のシンガポール大会以降、こういった前進をいかに継承、発展させていくのかが問われる。原点に立ち返った生活文化に関する取り組みは、日中韓の先行3カ国が今後議論をリードしていくことが必要だ。ここでの相互理解と交流が深まることになれば、アジアファッションの創出、発信はおぼつかないだろう。その際、「日本頼

み」ではなく、各国委員会が対等な力を発揮していくことも大切だ。その上で、各国で行っているファッションイベントの質的向上、知名度アップのための相互協力を深め、各国の取り組みが世界のファッションカレンダーに組み込まれて初めて欧米への発信のスタートラインに立つことができる。

各国の構成団体がファッション協会であったり、デザイナーの集まりであったり、縫製メーカーの団体であったり、とばらつきがあるが、AFF規約に沿った活動の深化については一致するところ。いずれは、AFFの活動を中心的に担う常設的な事務局体制が必要になる。21世紀は「アジアの世紀」とも言われる。圧倒的な経済成長力を持つこの地域から、生活文化や伝統に根ざしたファッションが世界に発信されるよう期待したい。

